

議会運営委員会

日時 令和元年9月10日(火) 午後 時 分～
場所 第3委員会室

1 9月12日の本会議議事日程について

- (1) 日程
 - 第1 一般質問
諸報告
 - 第2 第1号議案から第61号議案(質疑、付託)
- (2) 諸報告
・点検・評価報告(教育長)
- (3) 質疑順序(第1号議案～第61号議案)
① ② ③
- (4) 議案付託(第1号議案～第61号議案)
付託表のとおり ※付託表は議場に持参

2 委員会の日程について

- (1) 9月13日(金)
10:00～ 総務文教常任委員会、決算特別委員会総務文教分科会
- (2) 9月17日(火)
10:00～ 環境厚生常任委員会、決算特別委員会環境厚生分科会
- (3) 9月18日(水)
10:00～ 産業建設常任委員会、決算特別委員会産業建設分科会

3 陳情・要望について

- (1) 難病法における指定難病助成制度の改善を求める陳情書
＜環境厚生常任委員会＞
- (2) 罰則付きプラスチック製レジ袋禁止条例について…【別紙No.1】
＜環境厚生常任委員会＞
- (3) 令和2年度理科教育設備整備費等補助金予算計上についてのお願い
…【別紙No.2】＜総務文教常任委員会＞

【裏面につづく】

4 決算特別委員会について …【別紙No.3】

(1) 9月19日(木)の日程

- ①10:00～ 全体会(全員協議会室)
市長あいさつ、会計管理者概要説明

※<説明資料>提出予定議案の概要(8月26日に配付済)を全協室に持参

- ②10:30～ 分科会(各委員会室)※事務事業評価は全協室
審査(執行部説明、質疑)

(2) 委員長及び副委員長

- ◎委員長：藤本副議長
○副委員長：福井議員(総務文教常任委員長)

5 意見書提出期限について

- 9月27日(金)10:00まで

6 その他

(1) 次回の議会運営委員会

9月30日(月)幹事会(14:00～)終了後 議会運営委員会

※事前調整 9月30日(月)13:00～(正副議長、正副委員長のみ)

2019年9月2日



要 望 書

亀岡市議会議長 様

件 名 罰則付きプラスチック製レジ袋禁止条例について

要望の要旨 罰則付きプラスチック製レジ袋禁止条例が検討中と報道されましたが、かめおかプラスチックごみゼロ宣言でうたわれているように、「海ごみをなくす」ことに効果があるのか慎重に調査審査をお願いします。

要望の理由

1 新聞報道によりますと、十分な調査、調整がされているとは明らかではありません。

例えば、次の点など調査、調整されていないと思います。

ア レジ袋の海洋汚染に占める割合はどうか。消費に使用されるのは、ペットボトル、ライター、注射器、調味容器、トレー、カップなどが圧倒的に多いです。環境省の資料では、ポリ袋は0.3%とされています。費用対効果の面では、1市が取り組むには余りにも効果が少ないです。

イ レジ袋の無料配布禁止などを行っている国は、すでに大半です。

ヨーロッパはもちろん、近隣では韓国、ベトナム、インドネシア、中国、台湾なども、もちろん導入されています。ほとんどが各国の政策です。

ウ 河川などに市域で投棄されるポリ袋の量は調査もされていないと思います

エ 桂川、安威川の流城市町と調整されていないと思います。

2 市の他の政策と調整されているのか不明です。

(1) ごみ焼却施設との調整

焼却場の稼働は、プラスチックなど化石燃料に替わるものがなく、高温が出なくても、できるのででしょうか。

レジ袋も大部分が焼却場で処分されていると思います。CO2の増加にはなりません。

(2) 河川などへの投棄対策との調整

河川などへのプラスチック類の投棄、プラスチックが入っている歯磨きなどの除去等の対策が取られているのか不明です。少なくとも不法投棄については、京都府の施策だけがホームページに掲載されてい

ます。市としての取り組みが見えません。

(3) 産業施策の手当て

紙袋などへの変更には、事業者の理解と負担が伴います。産業としての対応は必要がないのでしょうか。知恵と負担を受けていただくための対応は十分されていますか不明です。

- 3 プラスチックによる海洋汚染問題は、世界的な問題です。日本の排出量が多いと思います。目立つ施策であるレジ袋禁止だけでは十分な効果は得られないと考えます。不法投棄問題、下水処理の充実も含めた総合的な政策として組み立てるべきです。そうでないと決して環境先進都市とはいえないと思います。市議会として慎重な調査審査をお願いします。

要望者

亀岡市篠町馬堀池の下27-5

松尾 寛治

令和元年9月2日受理
(郵送)

市区町村議会議長 殿

千代田区神田小川町 3-28 昇龍館ビル
公益社団法人 日本理科教育振興
会 長 大久保

令和2年度 理科教育設備整備費等補助金予算計上についてのお願い

すでに、小学校・中学校・高等学校ともに、新学習指導要領が告知されました。

理科教育においては、益々、[観察・実験] が重視され、今回初めて、学習指導要領の中で小中共に、「環境整備に十分配慮すること」という一文が加えられました。[観察・実験] 重視の視点から、これが十分実施できる理科教育環境整備に対する対応が重要であることが論じられています。

しかしながら、当協会の調査においては、小中高等学校の理科教育環境はまだ十分とは言えず、観察・実験の実践には、設備器具（観察・実験器具）の不足や、薬品や消耗材料の不足、実験準備・後片づけの時間など現場の教師に係る負担が多い等の指摘が挙げられています。

学校現場で最も困っていることが、5年連続で、小中高ともに「観察・実験機器の不足」と挙げられています。理科教育設備整備費等補助金事業は、小中高の観察・実験機器の整備拡充のための予算ですが、補助をうける団体が総事業費の半分を負担する事業となっています。

故に、積極的に理科教育設備整備費等補助金を取り込み、観察実験機器の充実に着手されている自治体とそうでない自治体との地域格差も生じています。

については、理科教育環境向上のため、下記の事項にご配慮賜りたく要望いたします。

- ・令和2年度 理科教育設備整備予算の計上をお願いします
【理科教育設備整備費等補助金事業への積極的な取り組みをお願いします】
- ・観察実験に伴う消耗品について、十分な予算措置をお願いします
- ・理科観察実験が十分に行える場所（理科室）の確保にもご留意ください
- ・実験支援員の配置にも十分にご留意をお願いします

貴自治体管轄の小・中・高等学校の理科教育環境はいかかでしょうか。理科教育について、充実した観察・実験授業を児童・生徒に体験させることができているでしょうか。使用できない古い機器がたくさん理科室に残ってはいませんか。消耗予算は足りていますか。実験するに際して、先生は準備や後片づけはできていますか。現状の理科教育について、貴自治体教育委員会にお尋ねください。

(別紙、昨年度調査を踏まえて「観察・実験こそ理科教育の基本です」パンフをご参照ください)

貴自治体管轄の全ての小・中・高等学校 理科教育環境向上のため、積極的な予算措置を、お願い申し上げます。

本件のお問合せ先

公益社団法人 日本理科教育振興協会 常務理事 石崎
〒100-0052 千代田区神田小川町3-28 昇龍館ビル 4F
TEL : 03-3294-0715 E-mail : info@japse.or.jp

理科の授業は理科室で！

「観察・実験」

こそ
理科教育の
基本です



文部科学省から、新しい学習指導要領に沿った
理振の考え方が提示されました。

ますます、観察・実験のできる理科教育環境の充実が
迫られています。

来年から始まる学習指導要領の準備を急ぎましょう。

次の学習指導要領は、より一層
[観察・実験]が重視されます！

理科教育環境を
さらに充実させてください。

小学校は2020年から 中学校は2021年から
高等学校は2022年から 実施されます。

新学習指導要領で追加された
内容や変更点により、
必要とされる観察・実験機器が
多数登場しています。(裏面参照)

あなたの学校の理科室は、
そろっていますか。準備されていますか。



理科教育を支援する
公益社団法人 日本理科教育振興協会



いま、小・中・高等学校の理科教育で一番困っていることは、観察・実験機器の不足です

理科観察・実験機器を充実させ、理科の楽し

平成25年度の調査から、7年連続で「機器の不足」が最も困っていると回答

① 教科書掲載の実験を行うために、重点設備機器の充実を推進しましょう

小学校では平成23年・中学校では平成24年・高等学校では平成25年から実施された学習指導要領で、優先的に整備してほしいと掲示された重点設備を中心に理科観察・実験機器の整備を推進しましょう。

観察・実験機器の整備充足率

品目	小学校	中学校	高等学校
重点品目	62.3%	47.6%	20.3%
重点品目以外	28.8%	17.6%	8.2%
設備品総額(重点品目と重点品目以外の計)	49.0%	43.9%	12.8%
少額設備品	36.5%	30.3%	10.4%

教育現場の声

- 実験機器が古くて使えない
- 一度に同じ機器を一括で揃える予算がつかない
- 実験機器の故障が多くて使えない
- 予算が乏しく、毎年買い足ししているのに、同じ機器が揃わず指導しにくい
- 顕微鏡の種類がバラバラで指導しにくい

② 理科の授業は理科室で行いましょう

観察実験が十分に行える場所を確保しましょう。

理科実験が十分にできる理科室は足りていますか

	小学校	中学校	高等学校
理科室が不足している	18.0%	44.7%	20.0%

普段理科室で授業を行っていますか

	小学校	中学校
ほぼ理科室で授業を行っている	33.8%	47.4%

※ 観察・実験にかかわらず理科の授業は理科室で行ってください。普通教室で行う授業よりも、観察・実験機器に囲まれた環境で行う理科の授業は、児童・生徒達の理科への興味・関心を、より一層高めるものと考えます。

③ 使えない機器は廃棄し、使用できる機器をそろえましょう

使えない実験機器・とても古い実験機器が理科室にありますか。顕微鏡・電源装置など、一括で整備することが望ましい機器は、大きな金額になるので、翌年に備え早い時期に予算要求しましょう。

使用できない実験機器保有数

	小学校	中学校	高等学校
使用できない生物顕微鏡	5.5%	15.8%	19.2%

使用できない実験機器保有数

	小学校	中学校	高等学校
使用できない電源装置	5.7%	14.1%	7.4%

生物顕微鏡を購入した時期

	小学校	中学校	高等学校
昨年～10年前	33.9%	43.5%	35.2%
10～20年前	31.0%	32.3%	30.5%
20年以上前	35.0%	24.2%	34.4%

電源装置を購入した時期

	小学校	中学校	高等学校
昨年～10年前	50.6%	42.2%	30.6%
10～20年前	27.8%	36.2%	26.8%
20年以上前	21.6%	21.5%	42.7%

古い実験機器は、火災や思わぬ事故の原因となります。安全な理科実験環境に留意しましょう。また、廃棄手続きを忘れずに行いましょう。

足数が少ないと『主体的・対話的で深い学び』の理科教育が困難です。

理科教育環境を整備してください

いただいています。

※令和元年度全国小・中・高等学校観察・実験機器充足調査結果より

4 消耗品もしっかり確保しましょう

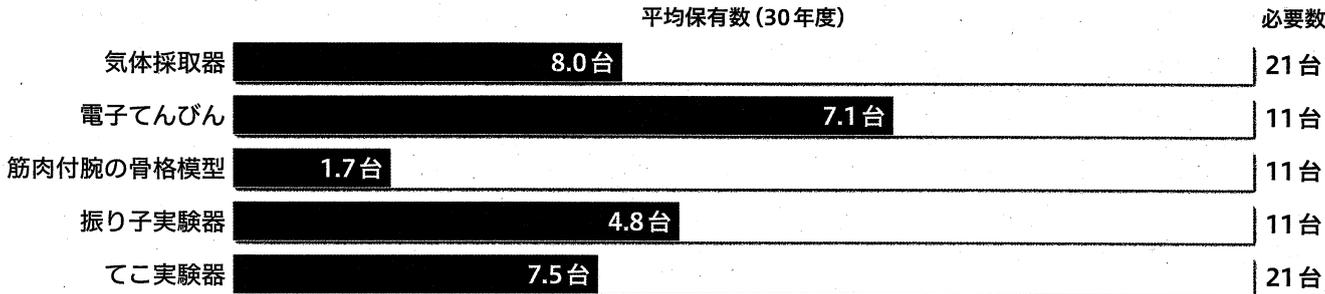
観察・実験授業を円滑に行うには、消耗品を常時用意しておく必要があります。消耗品費もまだまだ不足していますので、忘れずに予算要求しましょう。

	小学校	中学校	高等学校
消耗品が不足している	54.0%	56.7%	47.8%
一クラスあたり平均予算	9,803円	14,188円	15,931円
一人あたり平均予算	368円	447円	438円

代表的な理科設備品整備状況の調査結果

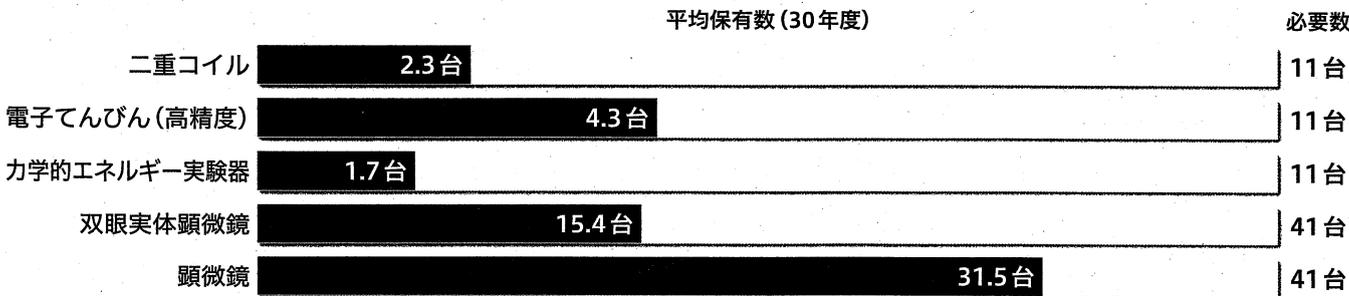
●小学校

※必要数とは40人学級で算出した数です



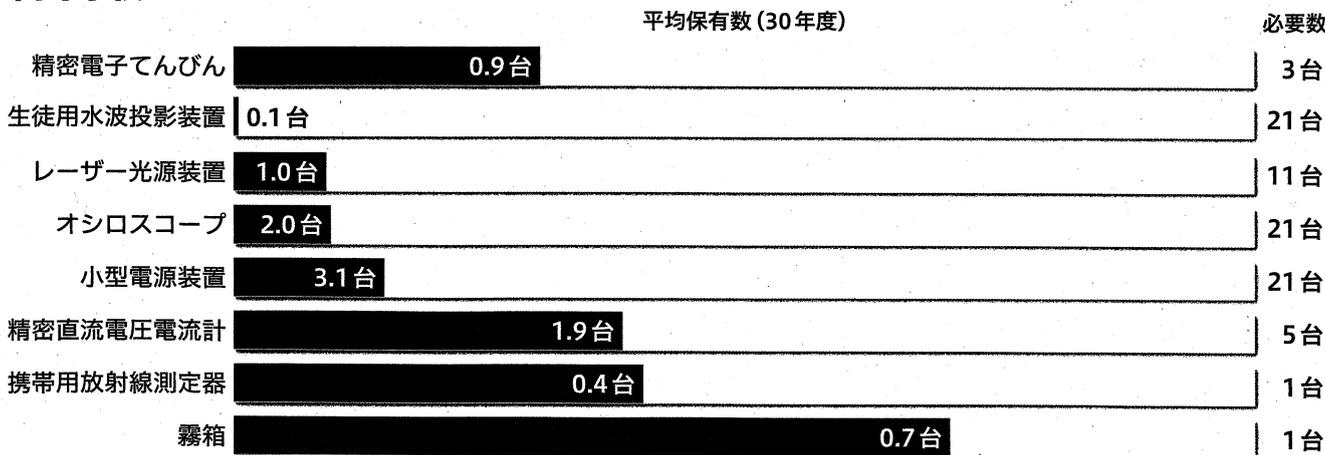
●中学校

※必要数とは40人学級で算出した数です



●高等学校

※必要数とは40人学級で算出した数です



次期学習指導要領に向けて観察・実験機器は整備されていますか 理科室の施設設備は実験授業を十分行える状況ですか

新学習指導要領で追加された内容・変更点

■ 小学校

追加した主な内容

- ・音の伝わり方と大小 (第3学年)
- ・雨水の行方と地面の様子 (第4学年)
- ・人と環境 (第6学年)
- ・自然災害

必要な観察・実験機器

- ・実験用太鼓
- ・人と環境説明パネル
- ・雨水と地面のマップ
- ・自然災害に関する実験機器
- ・電気の利用プログラミング学習セット

■ 中学校

改善・充実した主な内容

- [第1分野]
- ・光の色 (第1学年)
- ・放射線 (第3学年に加えて、第2学年においても学習)
- [第2分野]
- ・自然災害 (第3学年→全学年で学習)
- ・生物の特徴と分類の仕方 (第1学年)

必要な観察・実験機器

- ・双眼実体顕微鏡
- ・大地の変動説明器
- ・デジタル双眼実体顕微鏡
- ・液状化実験装置
- ・地震説明器
- ・ダニエル電池
- ・火山の噴火実験器

■ 高等学校

改善・充実した主な内容

- ・科学と人間生活：人間生活との関連を重視
- ・物理基礎：探究の過程を踏まえた実験・観察の重視
- ・化学基礎：日常生活や社会との関連を重視
- ・生物：「(1) 生物の進化」を内容の冒頭に設定し、以後の学習で進化の視点を重視
- ・地学：地震災害、火山災害、高潮災害などを加え、防災に関する学習内容を充実

必要な観察・実験機器

- ・定力装置
- ・地震説明器
- ・力学台車
- ・火山の噴火実験器
- ・電気抵抗測定実験
- ・大地の変動説明器
- ・生物の進化映像教材
- ・液状化実験装置

理科教育設備整備費等補助金事業のお手伝いをします

理科教育設備整備費等補助金 (理振) 申請は難しくはありません。この補助金を「久しく受けていない」、「受けたことがない」という自治体、学校法人様に当協会がお手伝いいたします。文部科学省のご協力をいただき、これまで全国で40回以上、理科教育設備整備費等補助金事業・台帳説明会を開催し、2,000以上の自治体・学校法人様にご参加いただきました。今年度も開催いたします。理振補助金に関するご質問など、当協会下記連絡先までお問い合わせください。

お問い合わせ ▶ 理科教育設備整備に関するご質問は、メール・電話・FAXにて当協会までお問い合わせください。

✉ Mail: info@japse.or.jp ☎ Tel: 03-3294-0715 📠 Fax: 03-3294-0716

詳しくは理振協会のホームページを参照願います。▶▶▶ <http://www.japse.or.jp>



理科教育を支援する
公益社団法人 日本理科教育振興協会

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-28 昇龍館ビル

決算特別委員会日程（R1.9実施）

日	時間	会議体制	内容
【1】 19日(木)	10:00～	全体会	委員長あいさつ 市長あいさつ 決算状況説明(会計管理者)
	10:30～	各分科会	審査
【2】 20日(金)	10:00～	各分科会	◎分科会審査の流れ (担当部ごとに) 決算審査(事務事業評価対象事業を除く) 及び 事務事業評価(※2参照) ↓ 討論・採決
【3】 24日(火)	10:00～	各分科会	
【4】 25日(水)	10:00～	各分科会	
【5】 26日(木)	10:00～	各分科会	
	上記終了後	全体会	分科会委員長報告、事務事業評価結果
	上記終了後	会派会議	
	13:00～	全体会	討論、採決
	上記終了後	分科会委員長会議	

※1 必要により、会派会議実施

※2 事務事業評価日程 場所：全員協議会室

総務文教分科会	25日(水) 10:00～
環境厚生分科会	24日(火) 13:00～
産業建設分科会	19日(木) 14:30～ 20日(金) 14:00～

※3 インターネット中継録画配信対象：全員協議会室で行う全体会及び事務事業評価

